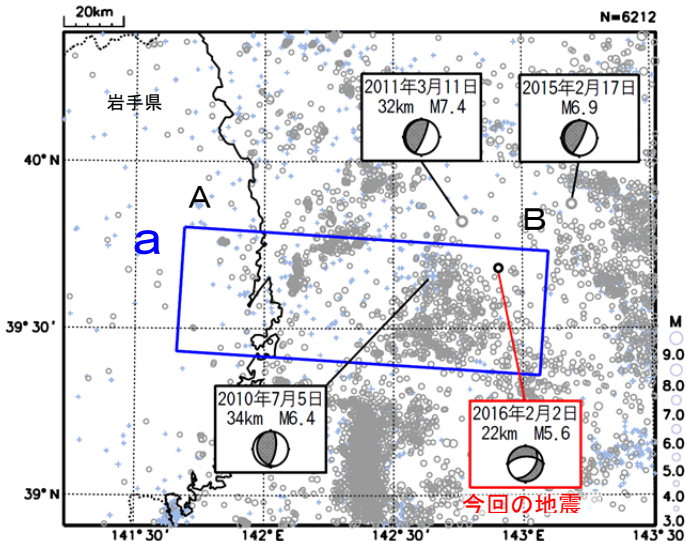


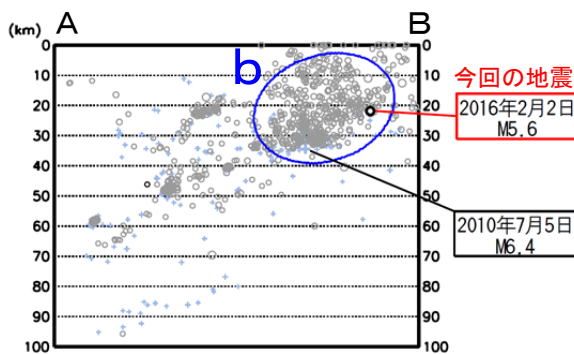
2月2日 岩手県沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2016年2月2日
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2016年2月の地震を濃い○で表示。発震機構はCMT解。

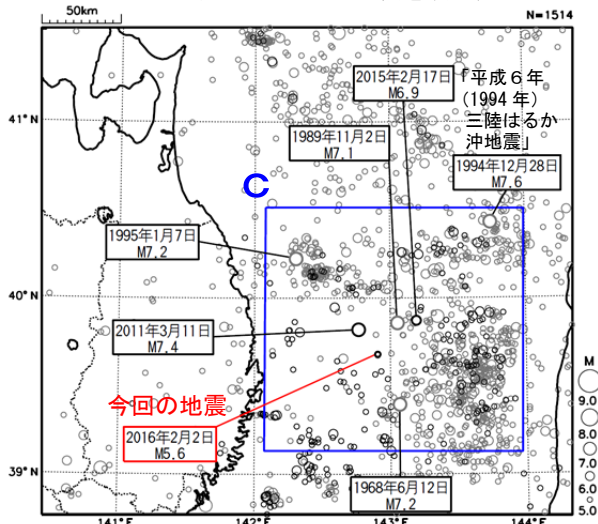


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1923年1月1日～2016年2月2日
深さ0～150km、 $M \geq 5.0$)

2011年3月11日以降の地震を濃く表示

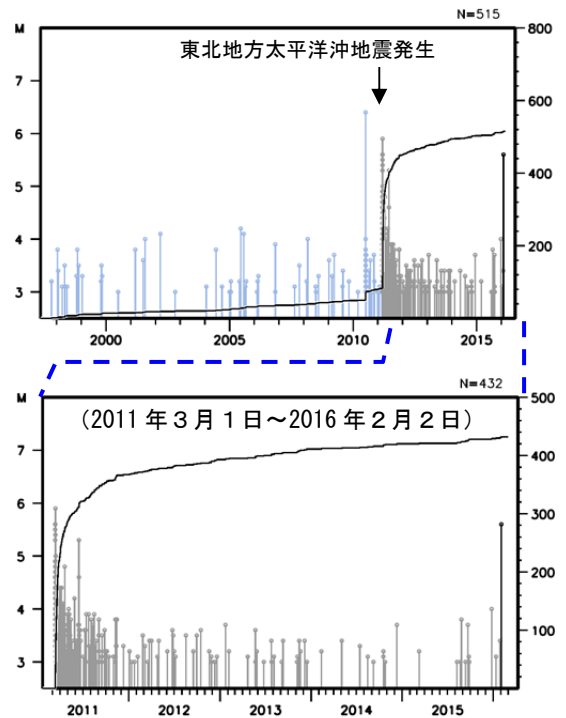


2016年2月2日14時31分に岩手県沖の深さ22kmでM5.6の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

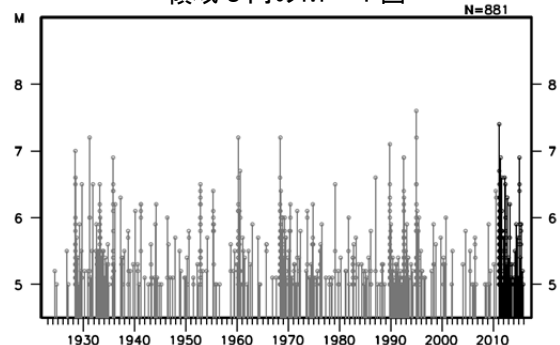
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」発生以前、M5.0を超える地震は1回しか発生していなかったが、同地震の発生直後には数回発生するなど、地震活動の一時的な高まりがみられた。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域c) では、M6.0を超える地震が時々発生している。

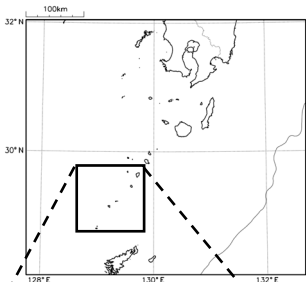
領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



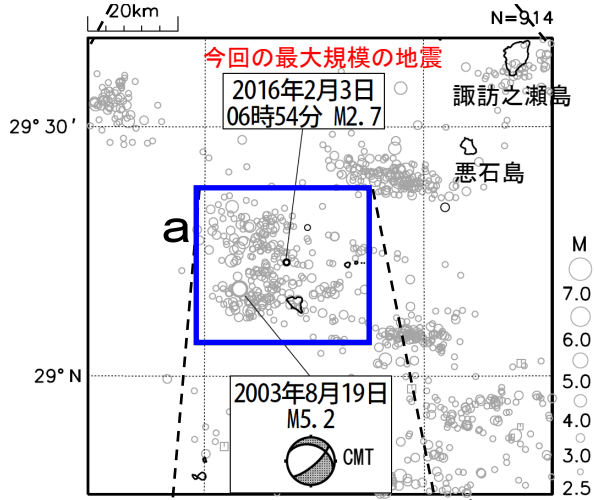
トカラ列島近海の地震活動



震央分布図

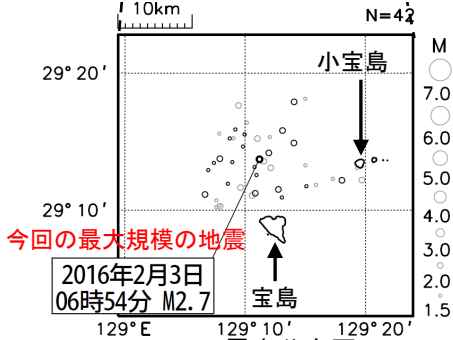
(1997年10月1日～2016年2月6日
深さ0～30km、 $M \geq 2.5$)

2016年2月の地震を濃く表示

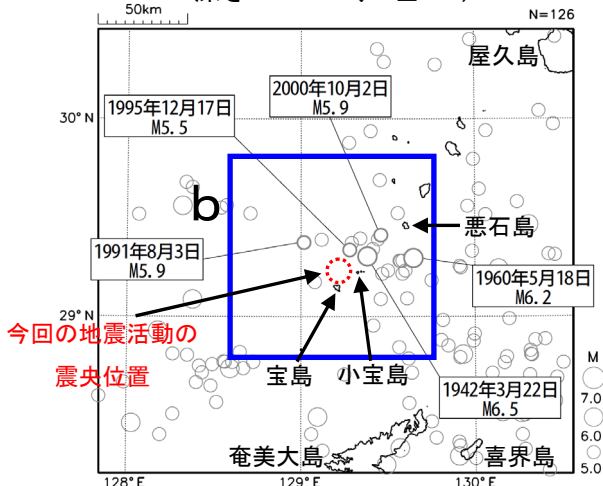


領域a内の拡大図

(2016年1月1日～2月6日、 $M \geq 1.5$)



(1923年1月1日～2016年2月6日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$)

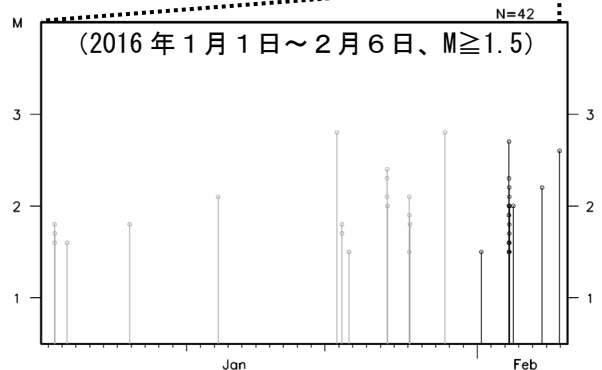
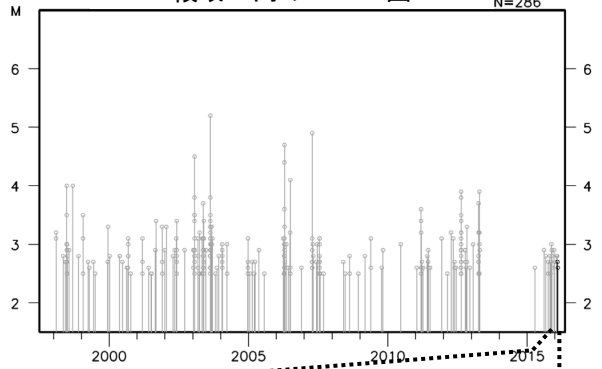


2016年2月3日06時頃からトカラ列島近海（宝島・小宝島付近）で地震活動がやや活発となり2月6日24時まで最大震度1以上を観測した地震が10回（最大震度3：1回、最大震度2：1回、最大震度1：8回）発生した。最大規模の地震は、2月3日06時54分に発生したM2.7の地震（最大震度3）である。今回の地震の震央付近では、本年1月にも最大震度1以上を観測した地震が9回発生している。

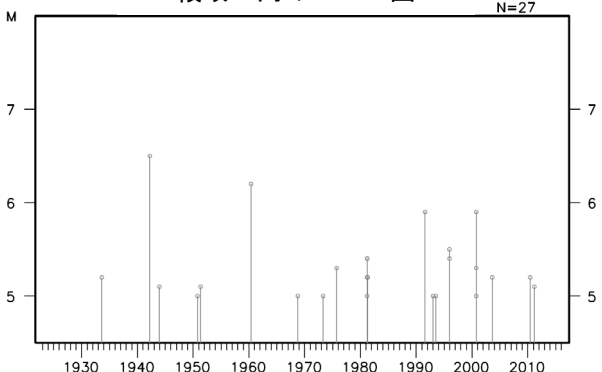
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、地震活動が活発な領域で、M4.0以上の地震が時々発生している。

1923年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.5以上の地震が5回発生している。今回の震央に近い悪石島付近では、2000年10月2日に発生したM5.9の地震（最大震度5強）を最大として、2000年10月の1ヶ月間で最大震度1以上を観測した地震が46回発生した。この地震活動により、水道管破損1箇所等の被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域a内のM-T図

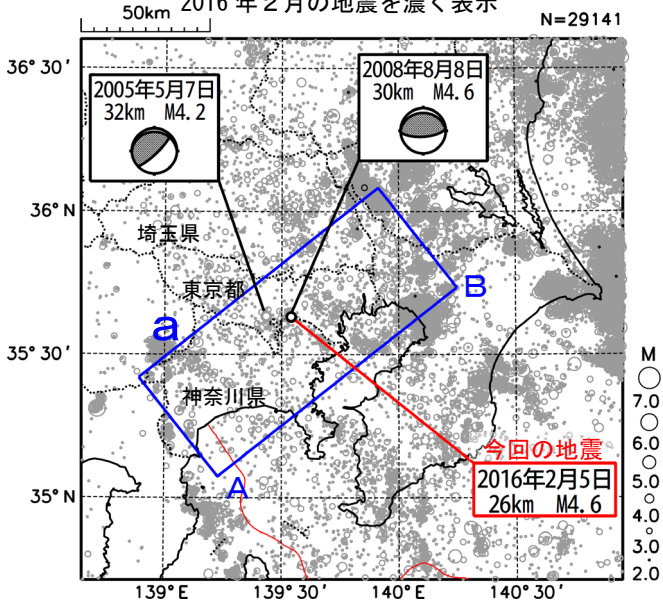


領域b内のM-T図



2月5日 神奈川県東部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2016年2月5日、
深さ0～150km、M≥2.0)
2016年2月の地震を濃く表示

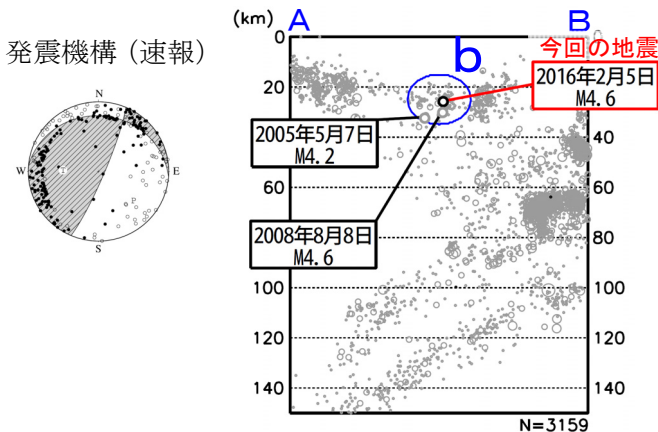


2016年2月5日07時41分に神奈川県東部の深さ26kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生した。この地震は発震機構(速報)が北西-南東方向に圧力軸を持つ型で、フィリピン海プレートと陸のプレートとの境界付近で発生した。

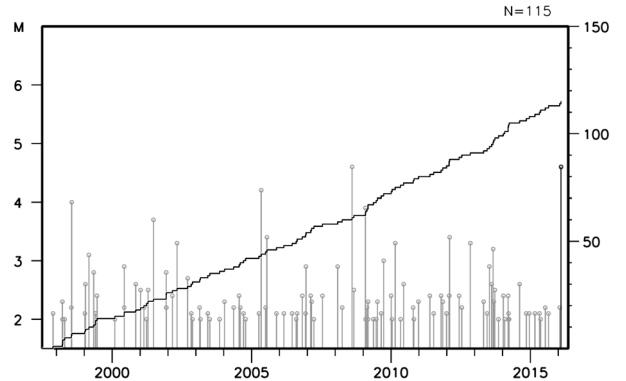
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生している。2008年8月8日には、今回の地震とほぼ同じ震央位置の深さ30kmでM4.6の地震(最大震度4)が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1923年9月1日にM7.9の地震(関東地震)が発生している。この地震により、死者・行方不明者10万5千人余、住家全潰10万9千余、住家焼失21万2千余等の被害が生じた(被害は理科年表による)。その後1930年代前半にかけて、M6.0以上の地震が発生していたが、それ以降はM6.0以上の地震は発生していない。

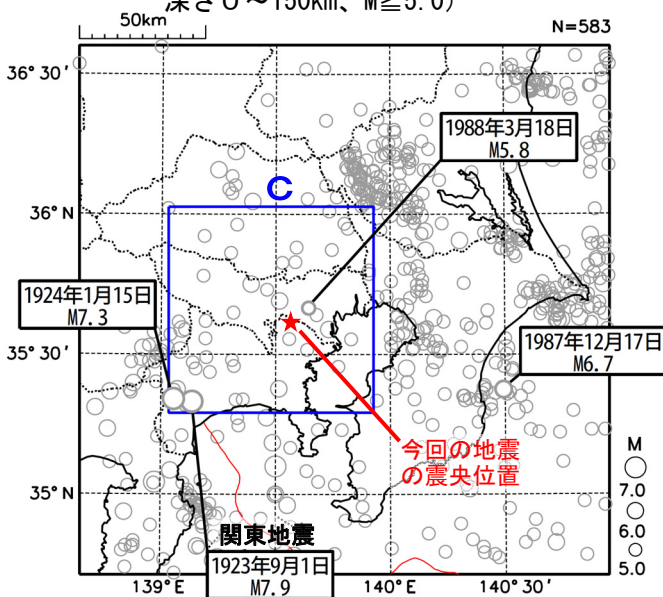
領域a内の断面図(A-B投影)



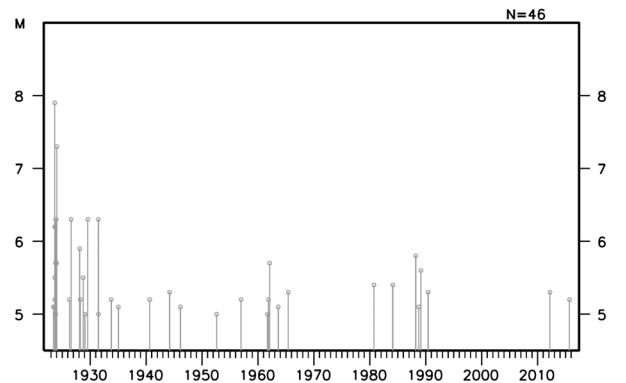
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1923年1月1日～2016年2月5日、
深さ0～150km、M≥5.0)



領域c内のM-T図



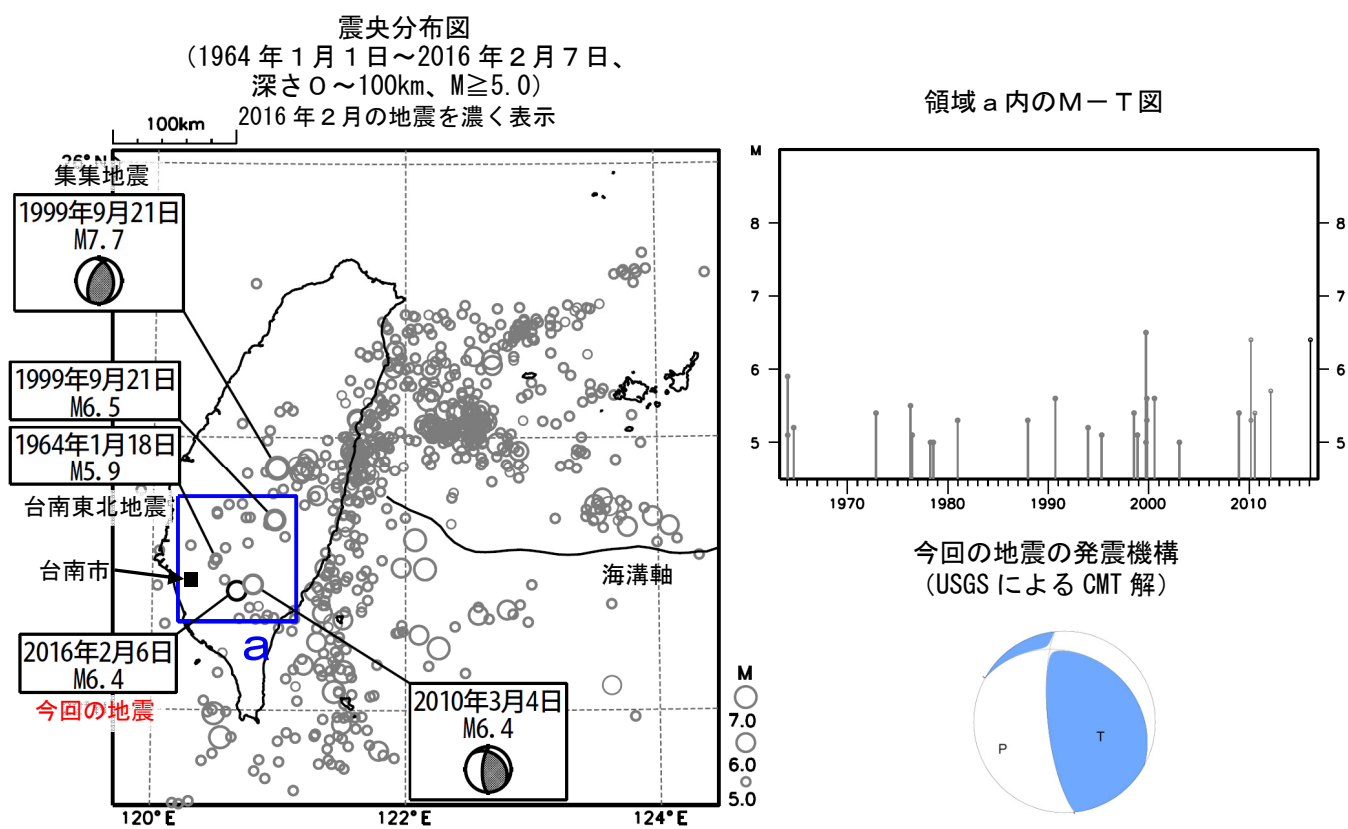
2月6日 台湾付近の地震

2016年2月6日04時57分（以下、時刻は日本時間）に、台湾付近でM6.4の地震が発生した。発震機構（USGSによるCMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型である。この地震により、死者35人、負傷者525人等の被害が生じている（2月8日10時40分現在：内政部消防署（台湾）による）。

1964年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）は、地震活動の活発な地域でM5.0以上の地震が時々発生している。1964年1月18日にM5.9の地震（台南東北地震）が発生し、死者106人、負傷者650人等の被害が生じた。最近では、2010年3月4日にM6.4の地震が発生し、負傷者96人等の被害が生じた。

また、今回の地震から北北東に約100km離れた場所では、1999年9月21日にM7.7の地震（集集地震）が発生し、死者2413人、負傷者8700人等の被害が生じた。

※1964年1月18日の地震及び1999年9月21日の地震の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。2010年3月4日の地震の被害は、米国地質調査所（USGS）による。



※今回の地震と2010年3月4日の地震のMは気象庁による。その他の震源要素及び発震機構（CMT解）は米国地質調査所（USGS）による。